

まんすりー 全旅連情報

全国旅館ホテル生活衛生同業組合連合会

〒102-0093 東京都千代田区平河町2-5-5 全国旅館会館4F

TEL 03-3263-4428 / FAX 03-3263-9789

発行日：平成29年7月1日 定価：150円 発行人：清澤正人 印刷：山陽印刷株式会社

7-8月号 2017

(合併号)

Vol.260



「宿ネット」 <http://www.yadonet.ne.jp/>

- 「第95回全旅連全国大会in石川」開催 ————— 1
- 平成29年度全旅連理事会・通常総会開催 ————— 3
- 第20回「人に優しい地域の宿づくり賞」視察報告 ————— 4

- 省庁便り ————— 6
- 全旅連会議開催／経営ワンポイントアドバイス ————— 7
- 全旅連協定商社会名簿 ————— 8

「第95回全旅連全国大会in石川」開催 伝統文化の地金沢で連帯の絆深める

民泊新法に対応した「大会宣言」示す 6つのスローガン掲げ14項目の決議も採択

全旅連は6月7日、第95回全国大会の式典を石川県金沢市の県立音楽堂で、また大懇親会を隣接するホテル日航金沢で開催した。「彩美極めて」の大会テーマのもと、全国から組合員はじめ全旅連関係者など約1300人が参集。大会では「居住専用地域等への安心安全な地域づくり」と、「小規模事業者の経営安定」「おもてなしのある国際観光サービスの品質向上」「スポーツ振興に貢献する宿泊施設の環境整備」への支援、そして、「災害に強い宿づくり」「人手不足解消に向けた取り組み」の推進を内容とした6項目のスローガンを打ち出し、住宅宿泊事業法(民泊新法)の施行に向け、「地域住民の安心安全を守る活動を通して共存共栄する地域をつくりあげてこそ、わが業界の成長と発展がある」とし、その真摯な声を高らかに訴えろとした「大会宣言」と、「業界の組織強化と経営の安定を図るため、これが速やかなる実現に向け邁進する」とした14項目にわたる「決議」を採択した。

松崎陽充全国大会実行委員長(石川県組合理事長代行)の「伝統文化を受け継ぐ我々旅館業が力強く前に進んで行く大会にしたい」の開会の言葉に続き、多田計介



あいざつする多田会長と開会の言葉を述べる松崎全国大会実行委員長



荘厳なバイブオルガンが印象的なコンサートホール(左)で全国大会は開催された。開会前にはバイブオルガンの豊穡の音、至高の響きが組合員を迎えた



祝辞を述べる左から来賓の城間、谷本、細田、望月、高階、米澤、紐野、中村の各氏



壇上の全旅連役員。右は石川県緑化推進委員会に対して行われた緑化推進基金の贈呈



力強く行われた万歳三唱



全国からの組合員が埋め尽くした式典会場

全旅連会長は「民泊新法をはじめ、少子高齢化の影響による人手不足、金融、耐震、生産性向上と問題が山積している旅館・ホテル業界であるが、不安材料ばかり先走って思案混乱するのではなく、一つひとつを絡まった糸をほぐすように解決・対処していきたい。このため、全旅連はこうした問題に迅速に対応すべく、情報の共有のもと問題意識を高め、「見える化」をもってわかりやすい組織改正に取り組んでいきたい」と述べ、理解と協力を求めた。また、喫緊の取り組むべき課題である民泊問題については、「地域住民の安心安全を最優先することで、業界だけでなく幅広く仲間を増やし、目的を達成したい」と述べ、本部とスクラムを組んで迅速かつ広範囲に

第95回全旅連全国大会・表彰



各賞を代表して受賞する
左から前川為夫(滋賀県、
藤原喜巳男(福井県、淵村
文一郎(鹿児島県)の各氏

「人に優しい」賞表彰



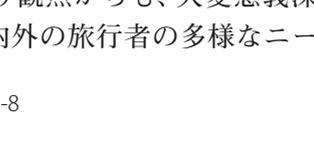
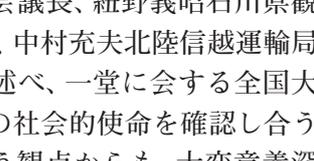
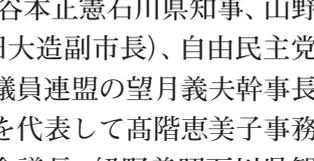
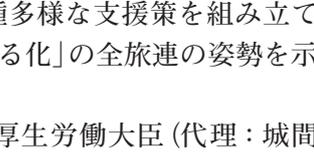
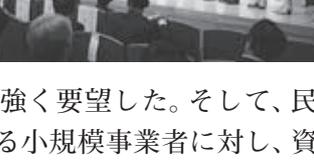
上から「人に優しい」賞での厚生労働大臣、全旅連会長、選考委員会の各賞と
観光経済新聞社社長賞の受賞者のみなさん



左から大会宣言と決議を読み上げる
坂井富山県理事長と八木福井県理
事長。万歳三唱の音頭をとる野澤副会長



式典で青年部
の協力を呼びかけ
る西村部長(左)
と塚島副部長



「人に優しい」賞でエントリ
の推進に努めた群馬、静岡、
愛媛、大分の4組合には感
謝状が贈られ、代表して登
壇する群馬県の森田理事長。
下は静岡県のみなさん



次年度全国大会開催地とな
る福岡県と熊本県(前夜祭)
のみなさんとあいさつする
井上理事長と西上理事長



ホテル日航金沢で開催された大懇親会



華やかなアトラク
ションが繰り広げら
れた懇親会場



和太鼓の教授を受ける
全旅連役員のみなさん。
右は香川県のみなさん



千葉県と右は山口県
のみなさん



46社50小間が出展した展示会場。
右は懇親会場で振舞われた石川
県の酒蔵36軒全ての試飲会



行動を起こしてほしいと強く要望した。そして、民泊新法で最も影響を受ける小規模事業者に対し、資金調達、売上支援等、多種多様な支援策を組み立てていきたいと述べ、「見える化」の全旅連の姿勢を示した。

来賓からは、塩崎恭久厚生労働大臣(代理：城間勇治生活衛生課長補佐)、谷本正憲石川県知事、山野之義金沢市長(代理：細田大造副市長)、自由民主党代表として観光産業振興議員連盟の望月義夫幹事長と観光産業振興議員連盟を代表して高階恵美子事務局長、米澤賢司石川県議会議員、紐野義昭石川県観光産業振興議員連盟代表、中村充夫北陸信越運輸局観光部長の8氏が祝辞を述べ、一堂に会する全国大会で、新たな目標や組合の社会的使命を確認し合うことは、業界の発展という観点からも、大変意義深いものであると述べ、国内外の旅行者の多様なニ

ズに応え、質の高いサービスの提供をもって今後も各地の観光振興の牽引役になってもらいたいと期待を寄せた。

式典では、厚生労働省医薬・生活衛生局長表彰(15名)、全国生活衛生同業組合中央会理事長感謝状(35名)、永年勤続表彰(役員54名、職員4名)と第20回「人に優しい地域の宿づくり賞」の各表彰に続き、大会宣言・決議の採択が行われた。そして、大勢の組合員が登壇して呼びかけたのは、次期全国大会の開催地となる福岡県と熊本県(大会前日に開催される前夜祭会場)のみなさん。震災から立ち上がった熊本県には拍手も送られ、最後に行われた万歳三唱には一段と力が込められた。

第95回全国大会もまた、式典、そして、組合員の親睦と情報交換の場として催された大懇親会には大勢の組合員らが出席し、連帯の絆を深めた。

平成29年度理事会・通常総会開催

組織改革で5つの部会を設置
「見える化・情報の共有化・すぐやる化」で活動推進



左から全旅連組織改革について述べる多田新会長、新体制について説明し議場に語る野澤新会長代行、民泊新法への対応について語る大木副会長、旅政連理事長代行となった佐藤政治担当常任顧問

全旅連は6月6日、石川県七尾市の「ゆけむりの宿美湾荘」で平成29年度理事会と通常総会を開き、多田計介氏（石川県理事長）の会長就任を正式に承認した。また役員人事では、会長代行に野澤幸司氏（関東甲信越ブロック会長、新潟県理事長）、新副会長に坂井彦就氏（北陸ブロック会長、富山県理事長）が就任した。



多田新会長は「全旅連組織改革」について述べ、「基本的には全国の理事長と組織を通じながら活動を進めていくが、その中に一つの大きな組織を置き、本部が何を考え、何をしていくのか、また地方が今何に苦慮しているのかを明確にし、情報の共有化をもって事業活動を進めていきたい」と所信を述べた。

新体制は、全国の理事長に直接情報を伝えることによって「情報の共有化」を図り、問題が発生しても、すぐにその解決環境を実現していくという「見える化」、また、迅速な対応を心がける「すぐやる化」の行動力を3本柱とし、タイムリーな活動の確実な推進に努めていく。

また、正副会長における「職務分担」も明確化され、総会での「任期満了に伴う役員改選」の議事では、野澤会長代行が全旅連組織改革案と8代目会長の佐藤信幸氏を政治担当の常任顧問と旅政連理事長代行とすること、また北原茂樹前会長を顧問に、上月敬一郎氏を相談役の委嘱候補者にすることを提案し、いずれも承認された。

組織改革（構造改革）では、全旅連内に5つの部会と6つの専門委員会を設置し、それぞれに担当副会長を置く。専門委員会は住宅宿泊事業法対策、小規模施設活性化、経営基盤調査研究、人材不足対策・職場環境改善対策、耐震等施設整備促進、厚生・国際サービスおもてなしの各委員会を5つの部会に配置

理事会で28年度委員会等の活動報告を承認
次年度全国大会は福岡県、大会前夜祭は熊本県



左から議事進行する佐藤会長代行、工藤、北堀、宮村、佐久間、稲池の各委員長

平成29年度全旅連理事会・通常総会の全議案は異議なく承認された。議案は、正副会長会議から理事会に上程されたものであり、また、理事会から通常総会への上程議案となっている。この中では厚生（野澤委員長）、労務（工藤）、法務（北堀）、財務（宮村）、インバウンド&OTA対策（佐久間）、小規模施設活性化（稲池）の各委員会のほかシルバースター部会（多田部会長）、青年部、女性経営者の会からも活動報告があり承認された。ほかに、チェーンホテル一括加入制度について、また、平成30年度全国大会開催地は九州ブロックとされ、式典・懇親会は福岡県福岡市内で、全国大会前夜祭は熊本県熊本市内での開催案が承認された。人事案件では全旅連事務局の勝田恭子事務局長が役職定年を迎えたため、市川正事務局次長が事務局長に就任した。

し、また、緊急案件に対応する災害対策室を設ける。

ここで、住宅宿泊事業法対策委員会（住宅宿泊事業による影響を調査研究して対処方法を導出、全国組合と共に連携を図ることを活動とする）を担当する大木副会長は、同法の進捗状況とその対応について述べ、全理事長の出席のもと「平成29年全旅連活動方針及び住宅宿泊事業法案の対応合宿」を8月23、24の両日にわたって東京千代田区の砂防会館で実施し、また、観議連幹部との意見交換会の場も設けていくことを報告した。同法案が6月1日に衆議院本会議で採決され、参議院への送付となっているが、同法に付け加えられた附帯決議（政府が法律を執行するに当たって示した留意事項）等を通して、これから地方に降りてくる同法に対してしっかりと対応を求めていくことになった。また、大木副会長は楽天グループが企画する設備改善融資である「楽天スーパービジネスローン」とリクルートライフスタイル社が準備を進めている「経営支援サービス」について説明した。

全国旅館ホテル事業協同組合第17回通常総代会では、28年度事業報告並びに決算、29年度事業計画案など各議案承認後、役員改選が行われ、理事会にて代表理事に多田計介氏（全旅連会長）が選任された。



第20回「人に優しい地域の宿づくり賞」視察報告

厚生労働大臣賞：割烹旅館 清都（千葉県南房総市白浜町）

視察対象事業：B型就労継続支援施設との繋がりで人件費削減と人材不足の解消

宿泊業界の人材不足は、とくに地方では非常に深刻な問題となっている。その一方で、地方在住の障害者は、都市部のような就労機会に恵まれない現状にある。こうした状況は、割烹旅館清都が立地する千葉県南房総市白浜町も例外ではない。創業20年を迎えた清都は、日頃より地域の町づくりや経済活性化の活動に積極的に関わってきたが、平成28年8月より、近隣の障害者就労支援施設と連携し、地域に密着した形で障害者の就労機会を提供することで、人材不足を解消する仕組みを作り上げた。

清都で働くB型就労者の仕事内容は、危険を伴う作業を除く作業全般で、館内清掃、ベッドメイキング、ガラス拭き、皿洗い、草取り等である。作業時間は10:30～12:00と13:00～14:30の3時間で、作業は、B型就労者3名に支援施設からの1名の指導者が付き添う形の、4名1チーム体制で行っている。

以前は850円/時間の従業員2名が3時間程度かけて行ってきた作業を、現在では1チーム750円/時間の賃金で、2時間程度で行ってもらえるため、人件費削減の効果は大きい。今では、依頼した業務のシフト等を指導者に任せられる体制がとれるようになったため、仕事の負担も軽くなり、以前から勤務している従業員も、彼ら・彼女らの仕事ぶりに刺激を受け、全体的な作業効率も向上している。館内もより一層清潔感が保たれるようになったうえに、障害のある方々を雇用する「人との触れ合いを大事にする宿」として評判になり、お客様からも応援の言葉をいただくようになっている。

この取り組みは、清都で働くB型就労者個々人にも、

多くの面でプラスの効果をもたらしている。彼ら・彼女らは、働くことの達成感と人から感謝される喜びを感じることで、自信をもって、自ら考えながら仕事ができるように成長し、笑顔がみられるようになった。そうした変化に家族の方々からも喜びの声が寄せられ、実際に、コミュニケーション能力が向上したことで、就職や資格試験の合格に結びついたB型就労者もいる。

旅館の業務は実生活に似ているため、障害者の自立支援には最適な場であるといえるが、単にB型就労者を受け入れれば、どこでもこのような成果がみられるというわけではない。清都に就労者を派遣している支援施設は、B型就労者の可能性を引き出すというスタンスで個々人に接し、ホテル出身者を指導者に採用するなどの工夫をしつつ、「外に連れて行けるかどうか」という基準をクリアする人を清都に派遣している。受け入れる清都の女将は、言葉の使い方や態度に気を配りながら、彼ら・彼女らが心配なく働ける環境づくりに留意している。清都は、B型就労者個々人の自立を支援する姿勢を支援施設と共有しながら、継続的な就労支援の仕組みを構築しているのである。従業員、支援施設と就労者、そしてその家族にも喜ばれながら人件費を削減し、人材不足の解消を実現する現在の仕組みは、こうした支援施設との信頼関係のもとに作り上げられたものである。

清都の取り組みは、経営改善の面からも、宿泊施設の社会的存在意義を高めるという意味でも、多くのヒントを提供してくれる。清都の経験に学ぶ宿泊施設が全国に増えていくことを期待したい。

指導員さんから仕事の指示が出されます



指導員さんから説明を受ける



実際の仕事風景



割烹旅館 清都全景



前列左から、女将の清都みちるさん、武川千葉県組合局長、橋本委員長、3名の就労者の方々と指導員さん
後列中央から、小宮庸宏氏(就労支援事業所管理者)、清都俊仁氏

視察日：平成29年5月25日(木)

視察者：選考委員長 橋本俊哉(立教大学観光学部教授)



第20回「人に優しい地域の宿づくり賞」視察報告

全旅連会長賞：片山津温泉旅館協同組合、山代温泉旅館協同組合、 山中温泉旅館協同組合、一般社団法人加賀市観光交流機構

視察対象事業：加賀温泉郷 湯めぐりまち巡り促進事業

団体旅行が盛んであった時代は今回の視察対象地である石川県の片山津温泉、山代温泉、山中温泉(3温泉郷)も隆盛を極めていた。ピーク時には歓楽街のある北陸の温泉地として、関西や中部地方からの根強い人気を背景に年間約400万人(H3年3温泉郷合計)の来訪客があった。その後、団体旅行の衰退と共に同地域への来訪客も減少し、商いの軸足は個人旅行者をターゲットとしたものへと移行し、街並みも家族で楽しめる静かな温泉地として大きく変容してきたが、近年は180万人/年を下回る状況にあった。

3温泉郷でも北陸新幹線の金沢駅までの開業(H27年3月)に大きな期待を寄せ、金沢まで来た旅行者の地元への有効な誘導策を模索していた。石川県の観光地は大きく、金沢、能登、白山、加賀の4地域に分けられるが、相対的に魅力に欠けるのではないかとの危機感を持っていたため、対応を誤ると新幹線の開業を追い風にできないとの懸念があった。

そのような課題や不安を克服するため3温泉郷間の近視眼的競争意識に封印をし、むしろ3温泉郷が一致協力することでより大きな力を産み出そうとの結論に至った。その中核となったのは(一社)加賀市観光交流機構で、個々の温泉地の意向を汲取りながら、共通の目標設定と緻密な計画を策定し、実施する推進役、調整役として機能することとなった。

現在の取組みは温泉宿での滞在に留まらず、南北に約10kmに並ぶ3地域を一体化させ回遊性の向上を図る仕掛けづくりの推進と、観光客が求める「湯めぐり」や「まち巡り」を楽しむ地元の魅力作りの推進で、加賀温泉郷への誘客と滞在時間の延長につなげることに注力している。

具体的には、①EVレンタカーと温モビ(ぬくもび:2人乗り超小型電気自動車)の導入促進、②電動アシストつきレンタルサイクルの導入促進、③定時運行されている加賀市内を循環する「キャン・バス」(2系統)や金沢市内と3温泉郷を結ぶ高速バスなど、地域交通機関との連携を強化し移動手段の充実に努める。さらに、④「ECO乗りクーポン」(2,000円券と600円券の2種)の企画販売を推進し、交通手段の充実のみならず地域のスイーツ店や観光施設との連携強化を図り、⑤3温泉郷の利便性の良さや地域の魅力をアピールする広告宣伝活動と加賀市産品の販売促進活動などに取組む。

行政(加賀市)からの支援も来年度(H30年度)まで続くが、初年度は新幹線開通効果もあり、久しぶりに来訪客数も200万人に届くところまでに回復してきた。キャン・バスの利用が減少したり、週末などの繁忙時には温モビに乗れない客が増えるなど新たな課題も出てきているが、加賀市観光交流機構と3温泉郷の組合がタッグを組み軌道修正を図りながら目標達成に取り組んでいる。

北陸新幹線は2022年に地元の「加賀温泉駅」を通り敦賀まで延長されることから、更なる期待が寄せられるが、途中下車地域になることも懸念される。本件は加賀市観光交流機構が多様な関係者と協同しながら、明確なコンセプトに基づいた観光地域づくりを推進するDMO(Destination Management Organization)として、3つの温泉旅館組合(48軒)と共に行政や関連企業の協力を得ながら、オール加賀温泉で地域興しを实践する事例として大いに期待し今後も注目したい。



(一社)加賀市観光交流機構の宮下和也事務局長(左)と山代温泉旅館協同組合の安念義浩事務局長(右)から活動内容について説明



山代温泉の旅館組合にてヒアリング



安念事務局長から超小型電気自動車「温モビ」について説明

実際に「温モビ」に試乗して加賀温泉郷を巡る平塚委員

視察日：平成29年5月25日(木)
視察者：選考委員 平塚良成
(特定非営利活動法人医療事業再生機構理事長)

平成28年経済センサス-活動調査速報集計結果の公表について

経済産業省及び総務省は、我が国の全産業分野の売上(収入)金額や費用等の経理事項を同一時点で網羅的に把握する統計調査として、平成28年6月に実施した「平成28年経済センサス-活動調査」の速報結果をとりまとめました。

本調査は、「平成24年経済センサス-活動調査」との比較によって東日本大震災からの復興、平成28年熊本地震の影響等も含めた日本経済の現状を明らかにするとともに、産業の実態を把握するための重要基礎データとして、今後、多方面で活用が期待されます。

速報集計結果の内容は、以下のWebページで閲覧が可能となっております。

総務省統計局ホームページ

<http://www.stat.go.jp/data/e-census/2016/index.htm>

経済産業省ホームページ

<http://www.meti.go.jp/statistics/tyo/census/index.html>

腸内細菌検査、ノロウイルス検査 旅館・ホテル組合員特別価格のご案内

	腸内細菌検査(検便)	ノロウイルス検査
検査項目・方法	サルモネラ菌、腸チフス菌、パラチフスA菌、赤痢菌、腸管出血性大腸菌O-157	RT-PCR法による遺伝子増幅法検査
報告日数	3～5営業日	1～3営業日
料 金	※組合員特別価格 300円/1検体(税別)	※組合員特別価格 検査料金 2,950円/1検体(税別) 検査容器代 50円/1検体(税別)
備 考	検体送料は、定期的実施分は弊社で負担いたします。追加実施分は、お客様でご負担願います。	検体送料は、お客様でご負担願います。(宅配便クール冷蔵指定)

検査申込書ダウンロード 全旅連公式HP「宿ネット」組合員専用ページ
<http://www.yadonet.ne.jp/info/member/>

お 申 込 ・ JFE東日本ジーエス株式会社 食品衛生調査センター
お 問 合 せ TEL:044-328-2788 FAX:044-333-1655
<http://www.eisei-chosa.com/>

2016年10月より新C→REXが始動!

訪日外国人向け自国通貨建てクレジット決済(DCC)および電子マネーに対応しました。

全旅連カード決済サービスC→REXでは、平成28年10月からインターネット光回線に接続する端末がリリースされ、設置場所にインターネット環境(有線LAN)があれば、簡単に接続できるようになった。また、アナログ回線への接続も可能となっている。

新サービスとしては、訪日外国人向け自国通貨建てクレジット決済(DCC)があり、海外発行カード(VISAとMastercard)の利用時に自国通貨建て決済(手数料2.08%)を選択できる。このほか、WAON、nanaco、suicaや交通系ICカードなど6種類の電子マネーの取扱い(手数料3.5%)も可能となり、いずれも注目の決済手段となっている。

宿泊施設の、宿泊施設による、宿泊施設のための

予約・販売管理システム

TL-Link

TL-リンカーン

旅行会社とネット販売を一元管理!

旅行会社とネット販売の
予約・販売・残室管理を1つに集約

ASP化により
複数の担当者の同時利用が可能

PMSへの入力・修正の負荷を、
カスタマイズ機能により大幅に削減

統計実績データをボタン1つで
集計・分析、営業力が強化

ユーザー支援強化中!!

- ユーザーのお声をもとに、毎月機能増強を行っています!
- 各地で操作フォローや勉強会を実施、導入後も支援します!

お申込み・
お問合せは

〒105-0021 東京都港区東新橋 2-3-3
電話: 03-5404-6701 (代) FAX: 03-5404-6706
<http://www.seanuts.co.jp/> シーナツで検索

手術をすることになったけど、他に
選択肢はないの?

理由もないのに
突然不安で胸
がドキドキする。

夜中に受診で
きる病院を知りたい。

セカンド
オピニオン
アレンジサービス

メンタルケア
カウンセリング
サービス

ハロー
健康相談
24

全旅連の『ケガ・病気入院補償制度』にご加入のお客様へのサービス例です。資料請求は下記お問合せ先まで。本サービスはティーベック株式会社に委託してご提供します。各サービスのご利用にあたっては諸条件があります。2017年6月現在

A-000764 2019-06

AIU保険
Member of AIG

お問合せ先 AIU損害保険株式会社
市場開発部 『全旅連まんすりー係』
TEL 03-6848-8834

受付時間: 午前9時～午後5時まで(土・日・祝日・年末年始を除く)

全旅連会議開催

【6月】

6日(火)

- 全旅連理事会
- 全旅連通常総会
- 全国旅館ホテル事業協同組合第17回通常総代会
- 全旅連事業サービス(株)株主総会
於：ゆけむりの宿 美湾荘(石川県和倉温泉)

7日(水)

- 第95回全旅連全国大会 in 石川
於：石川県立音楽堂(石川県金沢市)

8日(木)

- 全旅連青年部常任理事会 他
於：金沢商工会議所(石川県金沢市)

9日(金)

- 全旅連幹部打合せ

12日(月)

- 全旅連女性経営者の会(JKK)役員会
於：日昇別荘(京都府京都市)

28日(水)

- 平成29年度全旅連シルバースター一部会総代会
於：都道府県会館(東京都千代田区)

29日(木)

- 全旅連幹部打合せ

今後の予定

7月3日(月)

- 全旅連正副会長・各委員会委員合同会議

7月10日(月)

- 第3回全旅連正副会長会議

8月23日(水)～24日(木)

- 住宅宿泊事業法案研修会(仮)
於：砂防会館(東京都千代田区)

お知らせ

次号9月号の発行は9月1日となります。

※本号は、7・8月合併号です。
8月1日の発行はありません。

経営 ワンポイントアドバイス

「まんすりー」経営改善講座

渡邊 清一郎

観光立国達成に向け行政サイドが発表するものの中にはいまだに「世界がグローバリズムの定着に向けて大きく変わるなか、日本もグローバリズムの定着に貢献し大交流の利点を享受する」といったものが散見される。はたして、グローバリズムやそれに伴う規制緩和は「日本」のためになるのか。

金融グローバリズム

世界の市場を統一しグローバル・ワン・マーケットをつくるのが人類に幸福をもたらすという考え方。規制緩和により起こったことは、外国の保険会社の参入。外国の銀行や証券会社のリスクキーな金融商品販売。便乗した日本の銀行による利益優先販売。郵便貯金や簡易保険が日本政府の保護を失った後の状況は悲しいものがある。

農業グローバリズム

TPPには功罪の両面があるが、消費者・サービス業従事者にとっては「食の安全」にかかわる重要なテーマだ。2017年5月、農業競争力強化支援法案が成立した。農業の構造改革により安全・低廉な農作物を普及させ流通等の合理化により農業所得の安定化を図るものだ。しかしその中には「種子や種苗について、民間事業者が行う技術開発及び新品種の育成その他の種苗の生産及び供給を促進し、独立行政法人の試験研究機関及び都道府県が有する種苗の生産に関する知見の民間事業者への提供を促進する」(8条四)との内容がある。国家が保護してきた「安全な種」情報が外資を含めた民間ビジネスに公開され、食の安全が脅かされる。

観光グローバリズム

国内旅行者数6億人、訪日旅行者数2500万人と観光業界は緩やかな追い風が吹いているが、2020年までもつのか。その後の対策は大丈夫なのか。訪日外国人の為の安全・安心・快適については相当議論されているが、日本人の安全・安心・快適はいかがなものか。現状でも訪日外国人対策は充分ではないのか。観光においても行き過ぎたグローバリズム・規制緩和は立国の趣旨にそぐわない。

質問・相談は

watanabe@yadonet.ne.jp 携帯(090-3322-7208)
または、全旅連事務局(03-3263-4428)までどうぞ。

旅行サイト 「じゃらんnet」



www.jalan.net

遊び・体験

旅先での魅力的な遊びや体験が予約できる
じゃらんnet「遊び・体験予約」サービス

運営元:株式会社リクルートライフスタイル

安心・真心・優しさで選ばれる宿になりませんか

シルバースター登録制度は、急速に進んでいる日本の高齢化社会に対応するため、業界から自主的に起こった制度です。国内の宿泊旅行に限ると、2～3割が高齢者である現在、高齢者の宿泊施設へのニーズが強い事は当然であり、全旅連ではそうしたニーズに十分対応できる旅館・ホテルを数多く整備する事が業界全体の発展につながると考えています。

シルバースター登録制度がスタートし平成5年9月の第一号店誕生から、今では北海道から沖縄まで約800軒の施設が登録を受け、「優しい心」を示すマークを掲げています。

全旅連では、シルバースター登録制度を広く内外への周知を図るとともに、厚生労働省の協力を受けながら推進しています。

ぜひシルバースターにご登録いただき、ハード・ソフト両面の整備と充足にお役立てください。

◎しおりは、各都道府県旅館ホテル生活衛生同業組合までご請求ください。
◎お問い合わせは、全国旅館ホテル生活衛生同業組合連合会まで。



全国旅館ホテル生活衛生同業組合連合会

〒102-0093 東京都千代田区平河町2丁目5番5号全国旅館会館4階
tel.03-3263-4428 fax.03-3263-9789 URL: http://www.yadonet.ne.jp/

全旅連協定商社会 名簿

協 賛	(株) トランスネット	ホテル旅館向け各種インターネットソリューション販売	〒101-0024 東京都千代田区神田和泉町1-3-1 三恵ビル8F 営業企画部 土方 昇	TEL 03-6681-3140 FAX 03-6686-1039
	ソニー生命保険 (株)	生命保険コンサルティング他	〒100-0004 東京都千代田区大手町1-7-2 東京サンケイビル31F 東京中央LPC第3支社部長 中野秀嗣	TEL 03-4334-5203 FAX 03-4334-5213
	あいおいニッセイ同和損害保険 (株)	損害保険	〒150-8488 東京都渋谷区恵比寿1-28-1 専業・マーケット開発部 市場開発室 担当次長 橋本博史	TEL 03-5789-6450 FAX 03-5789-6449
	丸八真綿グループ (株) マルハチプロ	丸八真綿寝具販売他	〒321-0982 栃木県 宇都宮市 御幸ヶ原町81-7 (株) 東日本丸八真綿 宇都宮支店内営業部 副課長 玉木信安	TEL 028-663-6166 FAX 028-663-6238
	サントリーフーズ (株)	ソフトドリンクメーカー 清涼飲料用自動販売機の 設置	(東日本担当) 〒104-0031 東京都中央区京橋3-1-1 東京スクエアガーデン11F サントリービバレッジソリューション(株) 首都圏法人営業部 法人営業2課 近藤正	TEL 03-3275-7722 FAX 03-3275-5208
			(西日本担当) 〒530-0004 大阪府大阪市北区堂島2-2-2 近鉄堂島ビル18F サントリーコーポレートビジネス(株) 西部支社 法人営業部 部長代理 桑田美仁	TEL 06-6346-1164 FAX 06-6345-5768
	(株) リクルートライフスタイル	旅行雑誌じゃらん、 じゃらん.net等	〒100-6640 東京都千代田区丸の内1-9-2 グラントウキョウサウスタワー 旅行営業統括部 事業推進部 営業推進グループ 酒井 宏明	TEL 03-6835-6240 FAX 03-6834-8784
	(株) セラミックテクノロジー	客室木部白木再生、各種 浴場等の各種再生	〒414-0055 静岡県伊東市岡1274-9 松坂博行	TEL 0557-48-6026 FAX 0557-38-6557
	ミサワホーム(株)	旅館ホテル客室等のリフォー ム・新築	〒163-0833 東京都新宿区西新宿2-4-1 新宿NSビル 法人営業部法人営業推進課 全旅連担当課長 田崎裕治	TEL 03-3349-8044 FAX 03-4570-5668
	(株) 第一興商	カラオケ機器 (DAM) 音響・映像関連機器	〒141-8701 東京都品川区北品川5-5-26 営業統括本部 特販営業部 営業2課 エリアマネージャー 関口雅弘	TEL 03-3280-6821 FAX 03-3280-0862
	(株) コジマ	家電製品全般	〒171-0021 東京都豊島区西池袋3-28-13 池袋西口共同ビル8階 営業本部営業部 法人営業室 主任 原 智一	TEL 03-6907-3116 FAX 03-6907-2996
	(株) エクシング	カラオケ機器販売 (JOYSOU ND.UGA) 音響・映像関連機器	〒105-0011 東京都港区芝公園2-4-1 芝パークビルB館8F 営業本部 直販営業部ホテル開発営業G 関東首都圏支店 支店長 坂内真敏	TEL 0120-141-224 FAX 03-6848-8186
	東京海上日動火災保険 (株)	旅館賠償責任保険	〒104-0061 東京都中央区銀座5-3-16 旅行業営業部 営業第一課 山本健太	TEL 03-5537-3491 FAX 03-5537-3471
	AIU 損害保険 (株)	組合員向各種損害保険	〒990-0033 山形県山形市諏訪町1-1-1 センチュリープレイス山形7F 山形支店 支店長 池田文彦	TEL 023-633-8282 FAX 023-633-8353
	楽天 (株)	予約サイト楽天トラベル等	〒158-0094 東京都世田谷区玉川1-14-1 楽天クリムゾンハウス トラベル事業 国内営業部 チェーンホテルグループ マネージャー 永富文彦	TEL 050-5817-3369 FAX 03-6670-5253
	(株) 宿泊予約経営研究所	予約サイト運用業務代行サ ービス	〒220-8120 神奈川県横浜市西区みなとみらい2-2-1 横浜ランドマークタワー20F 営業企画室 統括マネージャー 北園勇人	TEL 045-227-6505 FAX 045-227-6507
	(株) シーナッツ	予約・販売管理システム TL-リンカーン	〒105-0021 東京都港区東新橋2-3-3 ルオーゴ汐留8F システムソリューション本部 山田あかね	TEL 03-5404-6702 FAX 03-5404-6706
	(株) i.JTB	宿泊予約サイト るるぶトラベル	〒140-8602 東京都品川区東品川2-3-11 JTBビル17階 執行役員販売本部長 山口健一	TEL 03-5796-5675 FAX 03-5796-5863
	ヤフー (株)	「Yahoo!トラベル」による 集客支援提案	〒102-8282 東京都千代田区紀尾井町1-3 東京ガーデンテラス紀尾井町 紀尾井タワー ショッピングカンパニー 予約事業本部 トラベル営業部 マネージャー 伊藤和也	TEL 03-6214-0736 FAX 03-6898-9639
	近畿日本ツーリスト個人旅行 (株)	宿泊予約サービス e宿(しーやど)	〒163-0235 東京都新宿区西新宿2-6-1 新宿住友ビル35F e宿泊事業部 課長 恩田 司	TEL 03-6864-4693 FAX 03-6864-4700
	(株) JTBビジネスインベーターズ	クラウド型業務システム、自社HP予 約決済システム、外貨取扱支援など	〒140-8602 東京都品川区東品川2-3-11 JTBビル6階 宿泊ソリューション営業部 今村孝宏	TEL 03-5796-5955 FAX 03-5796-5972
	(株) ネクシーズ	LED照明、業務用冷蔵庫、空調な どの省エネ素材のレンタル事業	〒150-0031 東京都渋谷区桜丘町20-4 ネクシーズスクエアビル サービス企画課業務推進係 井場裕紀	TEL 03-6415-1210 FAX 03-3770-2307
	(株) エス・ワイ・エス	自社HP予約エンジン 「OPTIMA」	〒107-0062 東京都港区南青山5-10-2 第2九曜ビル3F たびレシビ事業部 鳥澤靖史	TEL 03-3486-1070 FAX 03-3486-1071
	(株) Ctrip International Travel Japan	中国インバウンド予約サイト 「Ctrip」	〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町3-11-10 9F ホテル事業部マーケットマネージャー 山田崇博	TEL 03-4588-3429 FAX 03-5695-9390
	日本テクノ (株)	高圧電気設備保安管理・点検 電気料金削減コンサルタント	〒163-0651 東京都新宿区西新宿1-25-1 新宿センタービル51階 営業推進部 MC・東日本営業課 係長 相川 淳	TEL 03-5909-5389 FAX 03-5909-5379
	(株) エスコ	省エネ設備機器等補助金申 請代行コンサルティング	〒169-0074 東京都新宿区北新宿2-21-1 新宿フロントタワー12F ソリューション営業部 係長 小野寺雄士	TEL 03-5332-3166 FAX 03-5332-3512
(株) パラダイムシフト	オールインワン業務支援ソフト 「レップチェッカー」	〒103-0004 東京都中央区東日本橋1-3-6 パラダイムシフトビル 営業部 部長 古瀬路里	TEL 03-5825-9970 FAX 03-5825-9971	
エクスペディアホールディングス (株)	インバウンド予約サイト 「Expedia」	〒106-0032 東京都港区六本木1-9-10 アークヒルズ仙石山森タワー31F 営業推進部 篠崎正和	TEL 03-4577-3254 FAX 03-4510-9798	
(株) ウエストエネルギーソリューション	LED照明交換、空調設備更 新による電気料金の削減 ソリューションおよび太陽光 発電システムの設置など	〒163-1432 東京都新宿区西新宿3-20-2 東京オペラシティビル32F (株) ウエストホールディングス 経営企画室 シニアマネージャー 村田純次	TEL 03-5353-7481 FAX 03-5353-6862	
(株) ウエスト電力	発電および電力の販売			
推 奨	三菱電機ビルテクノサービス (株)	エレベータ設備・管理	〒116-0002 東京都荒川区荒川7-19-1 首都圏第一支社 業務部 参事 倉場和紀	TEL 03-3803-7319 FAX 03-3803-5234
	(株) フジ医療器	マッサージチェア	〒108-0023 東京都港区芝浦3-2-16 田町イーストビル1F 商経営業部 企業担当ユニット 鈴木哲治	TEL 03-3769-6600 FAX 03-3769-6601